

2016. 1. 24

父母について（少女初段）

西東京本部 浜田山支部

大井花奈恵

わたしが空手を始めたのは、お兄ちゃんとお父さんが先に空手をやっていて、見学に何回もつれていってもらったことがきっかけでした。「やりたいなあ。。」と思ってはじめて空手でしたが、白おびのときは、今日は行きたくないと思ったりするときがありました。ただお母さんが「はな、行ってらっしゃい！がんばってね！」と言ってきて、がんばろうと思いながら、行っていました。

お母さんはいつも元気をくれます。お父さんにはいつも注意されて「わかってるのに。。」って思うけれど、お父さんはしっかり空手を教えてくれます。そういうお母さんとお父さんが大好きです。

お兄ちゃんも黒おびの先ばいとして、色おびの人たちにいろいろ空手を教えているのを見て「すごいなあ。。」と思っています。

わたしも黒おびになったら、あんなふうに色おびさんを教えることになるので、もっともっとがんばらないと、と思っています。